

# 学ぶ楽しさを再確認

放送大学奈良学習センター20周年

## 記念講演や歴史討論

奈良市北魚屋東町の放送大学奈良学習センター(三野博司所長)は6日、開設20周年記念講演会・シンポジウムを、隣接する奈良女子大学記念館で開いた。放送大学で学ぶ学生ら約100人が参加した。

式典では放送大学の岡部洋一学長が式辞を述べ、三野所長があいさつ。来賓の奈良女子大の今岡春樹学長が祝辞を述べた。



「日本はなぜ大和に誕生したか!」をテーマにパネル討論を行う研究者=6日、奈良市北魚屋東町の奈良女子大記念館

記念講演では、岡部学長が「登山の科学とその楽しみ方」で講演。「日本はなぜ大和に

誕生したか!」がテーマのシンポジウムでは、奈良女子大の小路田康直副学長を司会役

に、東海大学文学部の北條芳隆教授、同センターの館野和己客員教授、奈良女子大文学部の西村さとみ准教授、前県立橿原考古学研究所調査課長の今尾文昭さんの各分野の専門家が、それぞれの研究を基に意見を交換した。

同センターの学生は現在約950人。三野所長は「全国の中でも奈良学習センターは高

齢者が多い。生涯を通して学ぶ県民意識が高

いことは事実だ」と述べた。

※奈良新聞社許諾済み  
※転載を禁ず